



硬式野球

公益財団法人



日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE ご案内

ホームページ

<http://www.boysleague-jp.org/>

メールアドレス

zai-boysleague@dance.ocn.ne.jp

※入団希望者は上記ホームページより、近隣のチームの代表にお問い合わせ下さい。

ボーイズリーグ

日本少年野球連盟のあゆみ

- 1970年(昭和45年) 7月 日本少年野球連盟結成
- “ 第1回選手権大会(小学生の部)
- “ 8月 第1回選手権大会(中学生の部)
- 1971年(昭和46年) 3月 第1回春季大会
- “ 10月 鶴岡一人氏理事長就任
- 1977年(昭和52年) 3月 ボーイズリーグニュース創刊
- 1981年(昭和56年) 8月 日本少年野球連盟の手引 第1回発行
- 1982年(昭和57年) 2月 連盟の愛称「ボーイズリーグ」と決定
- “ 8月 第1回世界少年野球大会開催(大阪)
- 1995年(平成7年) 6月 小学生の「女子選手登録」認可
- 2000年(平成12年) 3月 鶴岡一人氏逝去
- “ 5月 渡邊滉氏会長就任
- 2004年(平成16年) 6月 連盟歌(テーマソング)「白球にかける」誕生
- 2005年(平成17年) 5月 文部科学省より財団法人許可
- 2006年(平成18年) 12月 5ブロック制(関東・中日本・関西・中四国・九州)が決定
- 2007年(平成19年) 3月 バンダリー制度廃止(入部は県外でも可)
- “ 8月 中学生の「女子選手登録」認可
- “ 8月 他リーグとの交流試合許可(ブロック長の承認要)他チームへの移籍、条件付で認可
- 2009年(平成21年) 8月 中学生の部「女子選手による 第1回東西対抗戦」を開催
- 2010年(平成22年) 3月 春季全国大会は第40回記念大会を契機に大田スタジアムをメイン球場に、関東で開催
- “ 6月 40周年記念事業の一環として「僕(私)のボーイズリーグ」懸賞作文募集783通集まる
- “ 8月 選手権大会の開会式で懸賞作文の最優秀賞発表
- 2011年(平成23年) 1月 渡邊滉会長勇退
- “ 藤田英輝副会長が会長に就任
- “ 3月 東日本を襲ったM9.0(観測史上最大)の大震災と大津波の影響で第41回春季全国大会中止
- “ 4月 東日本大震災にあたり全国ボーイズリーグの仲間から2000万円以上の募金集まる
- “ 8月 第30回世界少年野球大会開催(福岡)
- 2012年(平成24年) 5月 内閣府に公益財団認定申請書提出
- “ 12月 内閣府より公益財団法人認定
- 2013年(平成25年) 1月 特別民法法人解散
- “ および公益財団法人認定登記
- 2014年(平成26年) 5月 賛助会制度発足
- 2015年(平成27年) 7月 連盟創立45周年
- “ 8月 第33回世界少年野球大会(愛知県岡崎)
- 2016年(平成28年) 4月 熊本地震 震度7
- “ 7月 熊本地震にあたり全国ボーイズリーグの仲間から729万円の募金が集まる
- 2017年(平成29年) 1月 ボーイズリーグの中に初めてガールズ(栃木ガールズ)のチームができる
- 2018年(平成30年) 1月 愛知県中央支部が誕生。全国で41支部となる
- “ 9月 西日本豪雨、台風21号の被災者に対し、全国の仲間から義援金289万円が集まる

野球をやるなら ボーイズリーグ



日本少年野球連盟(愛称:ボーイズリーグ)とは

日本少年野球連盟のスタートは1970年(昭和45年)。最初は一握りの小さな集団でしたが、1年後に南海ホークスの元監督で選手から“親分”と慕われた鶴岡一人さんが理事長に就任して以来、その人間性に惹かれてチーム数は急増しました。

鶴岡さんは30年間愛情を注ぎ続けましたが、2000年に他界。渡邊滉会長(現名誉会長)がバトンをひきつぎました。渡邊さんは金属スパイクの復活、バンダリー制の廃止、移籍の自由化など改革を断行。新風を吹き込みました。また毎年「野球をやるならボーイズリーグ」などのスローガンを発表。連盟を精力的に引っ張りました。

その渡邊さんは10年目を区切りに2011年に勇退。新しく藤田英輝会長が就任し、2013年には公益財団法人に認定され、又、賛助会制度を発足させるなど連盟をリードし続けています。

現在のチーム数は726、選手数約23,000。年間の活動内容は春と夏に全国大会を開催する他、各ブロックでの地区大会等で年間230大会にも及んでいます。また中学生による世界少年野球大会、ジュニアオールジャパン遠征など海外交流にも力を入れています。

- [目的]**
- ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導する。
 - 野球を通じて心身の錬磨とスポーツマンシップを理解させる。
 - 規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成する。
 - 次代を担う少年の健全育成を図る。

[加盟条件]

- チーム名 地域名+ボーイズ(※必ずボーイズを入れて下さい)
- 代表 全責任を持ち、連盟・支部行事に出席できる人。社会奉仕活動に情熱を持っている人が望ましい。
- 監督 成人で青少年育成に理解と情熱を傾けられる人が望ましい。
- コーチ 協調性のある人。
- 選手 申請時 11名以上(不足の時は相談して下さい)
- 連絡先 各支部の支部長まで(表紙ホームページ参照)



連盟主催情報及び紹介（春季大会・選手権大会・鶴岡大会等）

★日本少年野球選手権大会

毎年8月・夏休みに開催されるボーイズリーグ「日本一」を決める大会で2019年は第50回の記念大会を迎える。全国から小学生の部16チーム、中学生の部48チームが出場して、大阪で5日間にわたる熱戦が繰り広げられ、準決勝、決勝戦の様子はテレビ中継される。

★日本少年野球春季全国大会

選手権大会と並び、春休みのビッグイベント。東京で小学生の部16チーム、中学生の部41チームが出場して行われる。準決勝、決勝戦の様子はテレビ中継される。

★鶴岡一人記念大会

設立から30年間にわたって連盟発展に寄与された元南海ホークスの名監督・鶴岡一人氏（2000年没）の功績を讃えて誕生した大会。夏休み最後の大会で全国5ブロックから小学生、中学生、女子のオールスターチームが出場する。

- ☆関東ボーイズリーグ大会 ☆関東大会 ☆東日本選抜大会 ☆中日本大会
- ☆中日本秋季大会 ☆関西さわやか大会 ☆関西秋季大会 ☆中四国春季大会
- ☆中四国秋季大会 ☆九州選抜大会 ☆九州大会



海外派遣事業紹介（世界大会・野茂ジャパン・U-15等）

★世界少年野球大会

1982年に日本（大阪）で第1回の世界少年野球大会（参加は4カ国8チーム・大阪チームが優勝）を開催する。その後日本を始めアメリカ、メキシコ、ブラジル、韓国、イタリア、オーストラリアで開催を重ね、2019年はイタリア・ローマで第38回を迎える。日本は通算21回の優勝。ダルビッシュ・有、前田健太、筒香嘉智、根尾昂ら多くの選手が出場し、現在メジャーリーグ、プロ野球で活躍している。

★ジュニア・オール・ジャパン（ノモ・ジャパン）アメリカ親善交流

元メジャーリーガー・野茂英雄氏に派遣費用を援助していただき、アメリカ・ロサンゼルス、サンディエゴで交流を深めている。2018年で10回を数えた。夏休みに約10日間、野茂総監督とともに親善試合、交流など貴重な経験を積んでいる。森友哉、東克樹、藤嶋健人らがこれまでに参加している。

★U-12侍ジャパン・ベースボールワールドカップ

★U-15侍ジャパン・ベースボールワールドカップ

硬式5団体との選手権大会（ジャイアンツカップ）

- ◎第5回 全日本中学野球選手権大会（2011年） 優勝 飯塚ライジングスターボーイズ
- ◎第6回 全日本中学野球選手権大会（2012年） 優勝 湘南クラブボーイズ
- ◎第7回 全日本中学野球選手権大会（2013年） 優勝 枚方ボーイズ 準優勝 糸島ボーイズ
- ◎第8回 全日本中学野球選手権大会（2014年） 準優勝 京都南山城ボーイズ
- ◎第9回 全日本中学野球選手権大会（2015年） 優勝 羽曳野ボーイズ
- ◎第10回 全日本中学野球選手権大会（2016年） 優勝 湘南ボーイズ
- ◎第11回 全日本中学野球選手権大会（2017年） 優勝 小山ボーイズ
- ◎第12回 全日本中学野球選手権大会（2018年） 優勝 大淀ボーイズ

主なボーイズ出身の大リーグ・プロ野球在籍選手紹介（2018.12.24現在）

カブス ダルビッシュ有（羽曳野ボーイズ） ヤンキース 田中 将大（宝塚ボーイズ） ドジャース 前田 健太（忠岡ボーイズ）

広島 九里 亜蓮（米子ボーイズ） 中田 廉（ナガセボーイズ） 中村 恭平（横浜青葉ボーイズ） 田中 広輔（相模ボーイズ） 安部 友裕（小倉ボーイズ） 小窪 哲也（香芝ボーイズ） 小園 海斗（枚方ボーイズ） 林 晃汰（紀州ボーイズ）	ヤクルト 近藤 一樹（相模ボーイズ） 中尾 輝（愛知津島ボーイズ） 川端 慎吾（大阪狭山ボーイズ） 西浦 直亨（橿原ボーイズ） 廣岡 大志（松原ボーイズ） 三輪 正義（下関ボーイズ） 浜田 太真（中間ボーイズ） 久保 拓真（伊万里ボーイズ）	西武 内海 哲也（京都田辺ボーイズ） 大石 達也（福岡大野城ボーイズ） 平井 克典（愛知江南ボーイズ） 森 友哉（堺中央ボーイズ） 中村 剛也（大東磯ボーイズ） 源田 壮亮（大分明野ボーイズ） 木村 文紀（東京城南ボーイズ） 金子 侑司（京都嵐山ボーイズ）	ソフトバンク 中田 賢一（上津役ボーイズ） 高橋 礼（流山ボーイズ） 内川 聖一（大分プレース） 松田 宣浩（滋賀栗東ボーイズ） 明石 健志（旭川大雪ボーイズ） 西田 哲朗（八尾中央ボーイズ） 福田 秀平（世田谷ボーイズ） 水谷 瞬（愛知津島ボーイズ）
巨人 吉川 光夫（福岡中央ボーイズ） 小林 誠司（大阪泉北ボーイズ） 吉川 大幾（ナガセボーイズ） 田中 俊太（相模ボーイズ） 吉川 尚輝（岐阜南ボーイズ） 亀井 善行（大和ボーイズ） 炭谷 銀之朗（京都二条ボーイズ） 横川 凱（湖北ボーイズ）	DeNA 東 克樹（四日市ボーイズ） 宮崎 敏郎（唐津ボーイズ） （前田）大和（鹿児島鹿屋ボーイズ） 筒香 嘉智（堺中央ボーイズ） 桑原 将志（和泉ボーイズ） 伊藤 光（東名古屋ボーイズ） 中川 大志（桜丘中学ボーイズ） 上茶谷 大河（京都東山ボーイズ）	日本ハム 宮西 尚生（尼崎ボーイズ） 井口 和朋（横浜都筑ボーイズ） 鶴岡 慎也（鹿児島鹿屋ボーイズ） 清水 優心（岩国ボーイズ） 田中 賢介（二日市ボーイズ） 横尾 俊建（相模ボーイズ） 柿木 蓮（佐賀東松ボーイズ） 福田 俊（小田原ボーイズ）	オリックス 吉田 一将（香芝ボーイズ） 近藤 大亮（オール住之江） 山本 由伸（東岡山ボーイズ） 福田 周平（大阪泉南ボーイズ） Tー岡田（大阪箕面ボーイズ） 吉田 正尚（鯖江ボーイズ） 太田 椋（羽曳野ボーイズ） 富山 凌雅（和歌山御坊ボーイズ）
中日 福谷 浩司（名古屋緑ボーイズ） 小笠原 慎之介（湘南ボーイズ） 藤嶋 健人（東三河ボーイズ） 高橋 周平（湘南ボーイズ） 京田 陽太（白山能美ボーイズ） 大島 洋平（東海ボーイズ） 平田 良介（大阪都島ボーイズ） 根尾 昂（飛騨高山ボーイズ）	阪神 藤浪 晋太郎（大阪泉北ボーイズ） 西 勇輝（菟野ボーイズ） 北条 史也（大阪狭山ボーイズ） 植田 海（湖南ボーイズ） 福留 孝介（鹿屋ビッグベアーズ） 伊藤 隼太（愛知長久手ボーイズ） 中谷 将大（二日市ボーイズ） 陽川 尚将（大阪都島ボーイズ）	ロッテ 田村 龍弘（大阪狭山ボーイズ） 三木 亮（高石ボーイズ） 藤岡 裕大（赤磐ボーイズ） 萩野 貴司（橿原ボーイズ） 関谷 亮太（麻生ボーイズ） 藤原 恭大（枚方ボーイズ） 東妻 勇輔（紀州ボーイズ） 山口 航輝（ナガセボーイズ）	楽天 辛島 航（ドリームフューチャーズ） 池田 隆英（佐賀東松ボーイズ） 小野 郁（久留米中央ボーイズ） 今江 年晶（京都田辺ボーイズ） 浅村 栄斗（大阪都島ボーイズ） 岡島 豪郎（太田ボーイズ） 島内 宏明（小松ボーイズ） 辰巳 涼介（大淀ボーイズ小学部）

甲子園出場選手情報

- ◎2014年 ☆センバツ大会 129人 ☆選手権大会 238人 ◎2017年 ☆センバツ大会 181人 ☆選手権大会 235人
- ◎2015年 ☆センバツ大会 156人 ☆選手権大会 207人 ◎2018年 ☆センバツ大会 183人 ☆選手権大会 297人
- ◎2016年 ☆センバツ大会 180人 ☆選手権大会 229人

ボーイズリーグ

分布図／支部別活動チーム数

※()はチーム数、小は小学生の部、中は中学生の部

■ 東日本ブロック (226)

- ・北海道支部 (中10)
- ・東北支部 (中22・小1)
- ・茨城県支部 (中10)
- ・栃木県支部 (中12・小4)
- ・群馬県支部 (中15・小3)
- ・埼玉県支部 (中29・小8)
- ・千葉県支部 (中20・小2)
- ・東京都東支部 (中16・小3)
- ・東京都西支部 (中15・小1)
- ・神奈川県支部 (中35・小7)
- ・山梨県支部 (中7)
- ・長野県支部 (中6)

合計 (中197・小29)

■ 中四国ブロック (72)

- ・岡山県支部 (中13・小1)
- ・広島県支部 (中15・小7)
- ・山陰支部 (中10・小2)
- ・愛媛県支部 (中14・小10)

合計 (中52・小20)

■ 九州ブロック (118)

- ・北九州支部 (中14・小3)
- ・福岡県北支部 (中9・小1)
- ・福岡県南支部 (中20・小2)
- ・西九州支部 (中12・小4)
- ・中九州支部 (中19・小3)
- ・宮崎県支部 (中10)
- ・鹿児島県支部 (中8・小3)
- ・沖縄県支部 (中10)

合計 (中102・小16)

■ 中日本ブロック (133)

- ・北陸支部 (中11)
- ・福井県支部 (中11)
- ・静岡県支部 (中15)
- ・愛知県東支部 (中13・小10)
- ・愛知県中央支部 (中16・小2)
- ・愛知県西支部 (中16・小4)
- ・岐阜県支部 (中19・小1)
- ・三重県支部 (中12・小3)

合計 (中113・小20)

■ 関西ブロック (177)

- ・滋賀県支部 (中9・小1)
- ・京都府支部 (中15・小3)
- ・大阪北支部 (中23・小7)
- ・大阪中央支部 (中17・小7)
- ・大阪南支部 (中18・小6)
- ・大阪阪南支部 (中14・小4)
- ・兵庫県支部 (中25・小1)
- ・奈良県支部 (中13・小2)
- ・和歌山県支部 (中12)

合計 (中146・小31)

■小学生の部 116 チーム
■中学生の部 610 チーム
*小・中総数 726 チーム

2019.1月1日現在

賛助制度部にご協力をお願い

当連盟としては、公益財団になったのを契機に、賛助制度部を発足させ、選手(保護者)の費用負担軽減の一助にしたいと考えています。そこで社会のさまざまな分野で活躍されているボーイズOB、および関係者の皆様のご協力をいただき、関係者の方々との絆を深めボーイズリーガーの健全育成を目指しています。何卒本制度の趣旨にご理解を賜り一人でも多くの方がご協力くださるようお願い申し上げます。



ボーイズリーグ

公益財団法人日本少年野球連盟 本部

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階
TEL.06-6649-0061・FAX.06-6647-8989
Mail: zai-boysleague@dance.ocn.ne.jp

支部名:

(連絡先・問い合わせ先)

チーム名: